



自治労連 新聞

ふりーじあ

全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第35号
発行日：平成30年8月
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8506 東京都北区王子本町 1-15-22 北区役所B1 全連事務所内 ☎03-3907-5177



【大会の挨拶をする関谷明治中央執行委員長】

5月11日「春帆楼」(山口県下関市)において、北海道から沖縄まで、全国の各単組から約100名が参加のもと、「全国自治団体労働組合連合(自治労連)第49回定期大会」が開催されました。

関谷中央執行委員長の挨拶で始まった定期大会は、来賓に連合の内田厚副事務局長、公務労協の加藤達夫副事務局長、政研フォーラムの徳田孝蔵専務理事、下関市の前田晋太郎市長をお招きし、「挨拶を頂戴したのち、活発な質疑応答により組織内の理解を深め、全ての議案が満場一致で可決・承認されました。

第49回自治労連定期大会が 下関市で開催されました

下関市で開催されました

【関谷中央執行委員長挨拶】

昨年一年間を振り返りますと、公務員を取り巻く状況もいろいろと変化がありました。

この一年間の活動内容につきましては、この後、唐田書記長及び各専門部長から報告がござりますが、労働条件以外にも、例えば「トリカケ問題」文書改ざん問題、私たち地方公務員にも影響がありました。同じ公務員として、同じ目を向けられる。しかも私たちは国家公務員と違い、住民と直接対話する関係にあります。それだけではなく、国や県と話を進める中で、お互いが今までの以上に信頼になり、時間と労力が倍増するといった問題も少なくなりました。

そんな、我々公務員が苦しくなる中、みなさんもそうでしょうか、自治労連執行部は、本当に一生懸命頑張りました。少しだけご紹介いたします。

業務対策部は、公務員とどう接せたい、法律の解釈や考え方を、みなさんに楽しく学んでいただくこと、私どもが以前から親しくお付き合いさせていただいて、「森幸二さん」という北九州市の職員の方を講師に招き、勉強会を行いました。また、人事評価制度についての解説など、組合役員を担う者として役に立つ内容の会議を企画しました。ユース対策部は、ユース世代の職員がこれからの役所人生において、業務としても、組合役員としても、「自治労連の研修が役に立った」と思えるような内容の会議を企画しました。

教育宣伝部は、組合員の皆様に楽しくホームページを見ていただくこと、新しい取り組みも始めました。また、女性が今以上に活躍できる社会を目指して、自治労連としては初めてとなる「女性だけの研修」も行いました。

組織対策部は、主に、来年行われる50周年事業の内容を企画しました。これまでの自治労連を築き上げてくださった諸先輩方への感謝の気持ちと、これからの時代を担う若い世代へのメッセージを含めた内容を企画しています。

財政部は、皆様からお納めいただいた大切な予算を無駄のないように大事に執行することを心がけました。

私たちは全国組織、そして産別という視点に立て、単組の役員の皆様に対して、また組合員一人ひとりに対して、どのような

活動や、取り組みをしたらお役に立てるのか、また、どのような情報提供をしたら良いのかということ、唐田書記長を中心に、各専門部長が一生懸命考えます。

これから先、さらに皆様のニーズにお応えできるよう頑張りたいと思いますが、そのためには、皆様からの前向きな「意見や要望」をたくさんいただく必要があります。

私たち自治労連という組織は、産別から単組に指示を出すのではなく、皆さんの言葉に耳を傾け、皆様からの「意見を聞き、それを全国組織という立場で課題を共有しながら解決していく組織であるというのが特徴です。つまり、本当の意味での皆さんの集合体は私たちです。

そのため、私たちがどういう組織を目指すべきかということについては、皆さんからの「意見があればあるほど明確になっていきます。

私たちの特徴や個性が明確になれば、本日「臨席」いただいている上部団体や友誼団体の皆さんも、自治労連に対して何をしたいのか、どんな助言をしたら良いのかということが今以上に明確になっていきます。

小さな組織だからこそ、お互いに遠慮しない、言いたいことが言い合える。単組と産別の関係でありたい。そう私は思っています。

そして、50年という節目の年に、今一度、私たちは何のために存在するのかという労働組合としての原点を忘れず、そして方策や課題を整理し、次世代を見据えながら目的を持って活動してまいります。

このあと、各種報告並びに本年度の運動方針案、予算案について、報告、提案いたしますので、皆様の活発な審議のほどよろしくお願いたします。

本日の定期大会では、運動方針の他にも皆様からたくさんのお前向きな「意見や要望」をいただき、それを皆様と共有できればと思っています。

今後私たちが、皆様とともに、さらに自治労連を発展させていくためには、「友愛と信義」の精神を基軸として、皆様の「意見を尊重しながら、私たちが自治体職員が安心して働ける職場づくりに向け、活動を進めたい」と考えております。

これまで以上の「ご理解」「ご協力」「ご来賓の皆さまのお力添え」をいただきますよう、「この場をお借りしてお願申し上げます。

最後になりますが、本日、確立された運動方針をもとに、この一年間執行部一丸となり一生懸命取り組んでまいりますので、よろしくお願申し上げます。定期大会に当たり私からの挨拶とさせていただきます。

—加盟単組定期大会—

八代市役所職員組合 ～第30年度通常総会～

6月29日(火) セレクトロイヤル八代

下関副執行委員長の開会の挨拶の前に、5月17日に交通事故で亡くなった中川謙二執行委員長へ哀悼の意を表して、全員で黙祷を行いました。

執行委員長代行川部副執行委員長の挨拶のあと、来賓を代表して自治労連の濱村顧問が関谷中央執行委員長を代表して挨拶された後、執行委員長が不在となり大変な状況であるが、自治労連としても全力でフォローしていくとの心強いご挨拶を述べられました。

その後、執行部より平成29年度の活動経過及び会計決算について報告し、会計監査から監査報告がなされました。引き続き、平成30年度の議事に入り、活動方針、予算等について提案され、いずれも満場一致で承認、最後にスローガンを採択して盛会のうちに終わることができました。

私たち八代市役所職員組合は、地方自治の民主化を促進し、理想的市政の実現を図ることを目的の一つとして掲げております。今後も組織内の一層の団結、組織間の連携を図り、私たちの志を実現してまいりたいと考えています。

中川委員長の「冥福をお祈りします」。



Information

教育宣伝部では各単組の大会情報をお待ちしています。
メールにて大会記事と写真を自治労連本部までお送り下さい。

玉野市役所職員組合 ～第58回定期大会～

5月31日(金) 市役所大会議室



今回の役員選挙により神原智生新執行委員長をはじめとした新役員体制となりました。大会冒頭の執行委員長挨拶では、これまで諸先輩方が築き、引き継いできた本組合の重要性について触れ、今後の抱負として組合員一人ひとりに寄り添える身近な組合であり続けるため組織強化に鋭利努力するとの話がありました。

また、主役はあくまで個々の組合員であり、職場環境や処遇等についてそれぞれから吸い上げた意見を使用者側へ伝えて、対話の中から最善策を見つけて活動こそが最も重要な観点であり、そのためには皆の協力が不可欠であると締めくくりました。

総会では向こう一年間の活動方針等の種々提案を行い、新執行部の紹介を経て、最後は恒例の「がんばろう三唱」で盛会のうちに終わることができました。

私たちは、これからの先輩方が築き上げてくれた運動や理念を大切にしながら組織の拡大には努めていくとともに、これから新たな時代を迎えていく中で、もう一度組合が果たすべき役割や必要性を再確認しながら、いま加入いただいている組合員の皆さんにもより目を配りながら、皆さんが安心して働ける環境づくりに向けた活動を展開してまいります。

昨年度から重点的に取組んでいるスキルアップ研修やスポーツ交流会は定着化を図るため、より充実させていき、さらにブロック別懇話会により組合員同士の繋がりがより深まり、絆をより深めていきます。

平成30年度予算においては、この考え方を反映した編成となっており、大会において満場一致で可決・承認されました。

えびの市役所職員組合 ～第45回定期大会～

6月22日(金) 市役所会議室



大会では、平成29年度の活動経過報告並びに決算、平成30年度の活動方針並びに予算を報告・審議し全会一致で承認されました。また、役員選出についても執行部より提案され、満場一致で承認されました。

川崎執行委員長は、「産前産後休暇の拡充が行われたことを報告し、更なる労働条件、職場環境の改善・確保に取り組んでいく」と挨拶しました。

今後も、「自由にして民主的な労働運動」を基本理念に住民優先を基本的な考え、住民や組合員の理解を得ながら、組合活動をしてまいりますので、「支援」「協力」をよろしくお願いたします。

宮古島市職員労働組合 ～第13回定期大会～

6月29日(金) スーパースター





来賓の二挨拶 公務労協 加藤副事務局長

今年の人動期に向けた取組み、公務員の定年引上げと働き方改革における課題、様々な課題の背景にある財政再建問題について、これまでの現状とこれからの取組みについてお話しがありました。また、より質の高い公共サービスを住民に提供する観点から、公務で働く職員の人材を高め、自信と誇りを持って職責を全うするため全力で取り組んでいきたいと述べられました。



来賓の二挨拶 政研フォーラム 徳田専務理事

「この下関、春帆楼という場所は幕末から明治維新にかけて、自らの身よりも、天下国家のために何が出来るのか奔走された坂本龍馬、伊東博文、山縣有朋など多数の英

宣伝部門においては、自治労連を広く知っていただくため、ホームページや機関誌「ふりーじあ」を通じて発信していきます。ホームページは、その訪問者が求める情報に注意し、自治労連らしさを重視して、よりわかりやすく構成していきます。機関誌「ふりーじあ」では、読み手を意識して、楽しく読みやすい記事を掲載し、定期的な発行に努めます。

宣伝活動は、情報を広く発信することで、自治労連という産別の認知と関心の向上を図るという産別の顔でもある分野です。宣伝による効果を様々な側面から検証して、正しいターゲット分析を行い、自治労連活動を支えていきたいと考えます。

《業務対策部・田中真也 副中央執行委員長》
自治労連に加盟する単組が直面する諸課題を共有し、一体となって解決の糸口を探ることで、産別全体の課題と滑らかな運営を図ることを重点目標とし、「長時間勤務削減」、「人事院勧告」、「人事評価制度」などの解決を図るため、各専門部と連携しながらより良い情報が行き渡るように取り組んでまいります。

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《業務対策部 田中真也 副中央執行委員長》
自治労連に加盟する単組が直面する諸課題を共有し、一体となって解決の糸口を探ることで、産別全体の課題と滑らかな運営を図ることを重点目標とし、「長時間勤務削減」、「人事院勧告」、「人事評価制度」などの解決を図るため、各専門部と連携しながらより良い情報が行き渡るように取り組んでまいります。

《業務対策部 田中真也 副中央執行委員長》
自治労連に加盟する単組が直面する諸課題を共有し、一体となって解決の糸口を探ることで、産別全体の課題と滑らかな運営を図ることを重点目標とし、「長時間勤務削減」、「人事院勧告」、「人事評価制度」などの解決を図るため、各専門部と連携しながらより良い情報が行き渡るように取り組んでまいります。

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々



《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々

《ユース対策部 大前和紀 副中央執行委員長》
自治労連の中心的存在を担っていくユース世代の育成のため、限られた予算を最大限有効に活用し、その効果を広く各単組のユース世代組合員に浸透させるべく取り組んでまいります。その中で、これまで年々



来賓の二挨拶 政研フォーラム 徳田専務理事

「この下関、春帆楼という場所は幕末から明治維新にかけて、自らの身よりも、天下国家のために何が出来るのか奔走された坂本龍馬、伊東博文、山縣有朋など多数の英



来賓の二挨拶 公務労協 加藤副事務局長

今年の人動期に向けた取組み、公務員の定年引上げと働き方改革における課題、様々な課題の背景にある財政再建問題について、これまでの現状とこれからの取組みについてお話しがありました。また、より質の高い公共サービスを住民に提供する観点から、公務で働く職員の人材を高め、自信と誇りを持って職責を全うするため全力で取り組んでいきたいと述べられました。

来賓の二挨拶 連合 内田副事務局長

連合運動について様々な先輩の努力によって連合が結成されて来年30周年を迎えることとなりました。これからの連合がどうあるべきか、皆さんの働く状況は、



【自治労連加盟承認書を関谷中央執行委員長から宮里執行委員長（沖縄県現職労）へ】

新しい仲間 『沖縄県現業職員労働組合』が自治労連に加盟

連が集ったゆかりのある場所であるとは伺っている。春帆楼で自治労連の大会が開催されたことは大変意義あること。志が高い英雄たちに思いを致して、今日の労働運動、社会運動がどうあるべきか再考出来るのではないだろうか。安全保障問題、憲法改正など今日の課題に対し自治労連と共に頑張りたい、と述べられました。



《教育宣伝部 下崎もも 副中央執行委員長》

50周年に向けて、今まで以上に産別を意識し、産別だから可能な研修を実施することにより、中央執行委員や構成組織の代表者の自己啓発、次世代役員の育成を目的とした教育・セミナー研修活動の充実を図っていきます。



《組織対策部 湯川博昭 副中央執行委員長》

「自由にして民主的な労働運動」を基本理念に活動を行う自治労連の加盟をアピールすることにより、産別としての組織拡大を目指す一方、各構成組織内における新規採用職員等へのオルグ活動等に対する助言等も行ってまいります。

定期大会後の交流会

関谷委員長からの今後の抱負、下関市議会の戸澤昭夫議長からのご挨拶、湯川副中央委員長の乾杯で幕を開けた交流会は大いに盛り上がりました。小賀委員長、および下関市役所職員組合の皆様、本当にありがとうございました。



【下関市議 小賀執行委員長】

全国自治団体労働組合連合第49回定期大会

